**研究構想図**

学校教育目標

○よく考える子　　○元気な子　　○助け合う子

児童の実態

・失敗を恐れ、自信の無い児童が多い。

認め合う・学び合う集団とは…

・自分と他者との違いを認めることのできる集団。

・児童が所属感、安心感のもてる集団。

・望ましい人間関係を構築することができる集団。

・友達のことを認めてあげることはできるが、

自己肯定感が低い。

・小集団では話せるようになってきたが、学級

全体の前では自分の意見を伝えられない。

・折り合いをつけながらすすめることが苦手な

児童が多い。

**研究主題**

**認め合う・学び合う集団の形成**

**〜学級会を通して〜**

**目指す児童像**

○自分の考えに自信をもって表現することができる児童。【表現する】

○相手の考えを尊重し、肯定的に受け入れることができる児童。【受け入れる】

○よりよい話し合いになるように協力することができる児童。【合意形成する】

**研究仮説**

①みんなが学習ルールを守る安心安全な学習環境を整えることで、落ち着いて学習に取り組み、

自分の考えを表現することができるだろう。

②話し方・聞き方の技術を身に付けることで、自信をもって意見を伝えられるようになるだろう。

③自分ごとになる適切な議題を設定することで、主体的に話し合いに参加することができるだろう。

**研究方法**

**具体的な取り組み**

**◆継続的な学級会の指導。　　　　　◆全校で統一したハンドサインの活用。**

**◆学級会の進め方の共通理解。　　　◆話し方名人・聞き方名人の活用。**

**◆学級会の環境整備。**

**◇話し合いの視覚化。**

**◇議題の設定方法の工夫。**

**◎年度初めと年度末に児童アンケートをとり、児童の変容を確認する。**